

2025年8月号
Vol. 240

arch-tsushin

あーち通信

夏季休館のお知らせ

8/10(日)~18(月)

上記の間、あーちはお休みさせていただきます。

灘区保育サービスコーディネーター藤永さんによるお話し会

教えて！灘区の保育

～幼稚園編～

灘区の保育・教育施設の紹介、保育サービスの内容や利用方法
をご説明します。質問や個別相談もお気軽に！

日時：8月5日(火) 10:45~12:00

場所：ふらっと・あーち

<予告> 次回9月3日(火)は、保育所編を予定しています。

健康あーち特別プログラム

呼吸法とヨガのちえ(智慧)

「静かに、ただ呼吸するだけで、こんなにも違う」

ヨガの哲学書のちえのお話と、毎日の簡単な呼吸法をお
伝えます。心の余白をつくるリセットタイムです。

※参加される方は、バスタオル、飲み物をお持ちください。

日時：8月7日(木) 11:00~12:00

場所：こらぼ・あーち

「神戸大空襲」を風化させないために

命をつなぐイベントin神戸

戦後80年の今年、語り部さんたちの貴重なメッセージや、
現在も戦時下にあるウクライナの子どもたちの様子や文化
を、映像で届けます。今、私たちができることを考える機会に
しませんか。(詳細は館内にあるチラシをご覧ください。)

日時：8月27日(水)~30日(土)

午前 11:00~12:00 / 午後 13:00~15:00

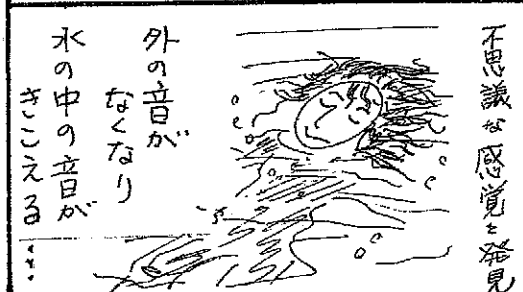
場所：こらぼ・あーち

えんじえる君II by Bon

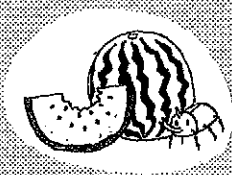
マネをしてみる



えんじえる君は (おもしろ) プール大好き♡



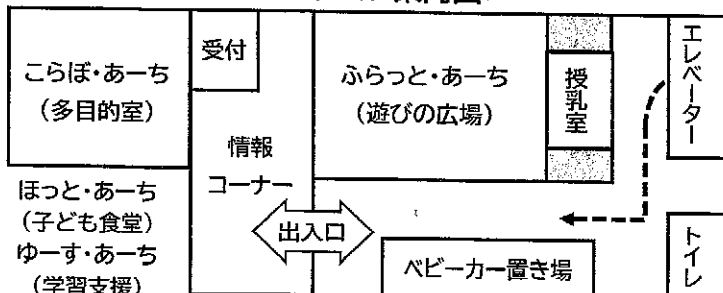
8月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	金	よる・あーち 17:00~19:20	
2	土	命をつなぐイベント(準備会)10:30~12:00※ゆーす プラレール広場 10:30~16:00	あーちクローゼット 13:30~16:00 ※情報コーナー
3	日	休 館	
4	月		
5	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
6	水		
7	木	呼吸法とヨガのちえ(智慧)	
8	金	よる・あーち 17:00~19:20	
9	土	おはなしの国 11:00~11:30	あらかると音楽あそび 14:30~15:00
10	日	 夏 季 休 館 (8/10~18) 	
11	月		
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
20	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00
21	木		
22	金	よる・あーち 17:00~19:20	
23	土	命をつなぐイベント(準備会)10:30~12:00※ゆーす おもちゃ病院 13:00~15:30	
24	日	休 館	
25	月		
26	火	命をつなぐイベント(準備会)10:30~12:00	ふらっとトリミット 11:00~11:30
27	水	命をつなぐイベント	ベビーマッサージ 14:00~15:00
28	木	命をつなぐイベント	
29	金	命をつなぐイベント	
30	土	よる・あーち 17:00~19:20	
31	日	命をつなぐイベント	
		休 館	

- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。
また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、開始時刻より早めにご来館ください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

水曜 午前 保健師・保育士

水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師

お電話でも相談できます



<プログラムのご案内>

- ★あーちクローゼット…着なくなったこども服を持参ください。他の服と交換できます。(持ち込みのみ可)
- ★あーち人形劇団「むー」…自分の好きなこと、できることを持ち寄って、一緒に人形劇遊びをしませんか？
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

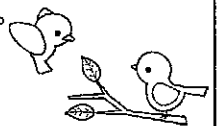
※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

- ★ふらっと リトミック…リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。

<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)
 ※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
 金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
 託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
 未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



昨日、シカゴを出発して、アイスランドの首都レイキャビクに着きました。今日からクルーズ船でアイスランドを10日間かけて巡ります。こうして旅をすると、自分が今どこにいるのか分からない瞬間ってありますよね。今朝、夫が“I was discombobulated when I woke up. I had no idea where I was!”「混乱したよ！目が覚めて自分がどこにいるのかわからなかったよ。」と言いました。まさに、この長い単語が意味する状況です。discombobulated はカタカナで書くと”ディスコムバービュレイティッド”で、confused よりももっと混乱した度合いが高いそうです。他に例を挙げれば、”I was discombobulated when I saw the news.”「私はニュースを見て困惑した。」などの言い方があります。

I was ディスコムバービュレイティッド！この単語の長さに困惑しますね。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)



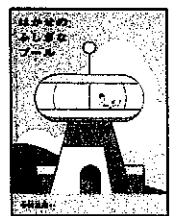
絵本の世界へようこそ

「はかせのふしぎなプール」

作：中村至男

福音館書店

2020年6月発行



はかせは、“いれたものがなんでもおおきくなるプール”を発明しました。そのプールに、いろいろなものを入れて大きくします。じょしゅくんと一緒に、プールの水面から少しだけ見えている部分をヒントにして、何がはいっているのか考えてみましょう。そして最後に大きくなったものとは…？！

定規で引いたような、くっきりした線で描かれた絵が特徴的です。作者の中村至男さんは、グラフィックデザイナーとしても活躍されています。

(あーちスタッフ 山名)



私とTERUはかなり年齢差のある親子です。TERUは小さい頃からとても活発で、外出すると小さい身体で親をふりきり、一人では一と走っていつてしまいます。しかもあり余る体力でどこまでも走る走る。危険な場所や人の多い場所では追いかけて手をつかむのだけど、出産するまでの長い間、運動らしい運動を一切してこなかった高齢出産の母にはきつい～。年少から年中さんになるころには追いつかなくなって、若いママ友が追いかけてくれたことも数えきれない…。

一人で走っていった理由をTERUに聞いてみた。
TERU母「なんで小さい時、すぐに一人で走っていったの？」

TERU「覚えていない。」

TERU母（ですよ!!）

そんなTERUも年中さんの時のある出来事から、一人で走っていく行動をびたりとやめます。きっかけは関西を代表する大きなテーマパークに家族でいったとき、いつものように一人で走っていつて迷子になってしまったから。見失った場所からかなり遠くにまで冒険していたそうです。幸運なことに親切な方が声をかけてくださり、スタッフに保護されました。親の元に戻ってくるまで1時間近く、心細い思いをしたのだと思います。戻ってきたときTERUは大泣きをするどころか、逆にすごく怒っていて、母は”ばちん”と叩かれました…。父と母が後ろにいと信じてどこまでも走っていったんだね。

テーマパークでの迷子事件以来、走り出したら「迷子になるよ～」と声をかけると、TERUはびたっと止まり振り返る様になりました。体力的には楽になったし、危険を未然に防げるようになりよかったのだけど、TERUの迷子事件は今思い出してもぞっとします。

ながーい前置きはさておき。TERUは2歳前後から

自分の思うタイミングで信号を渡れなかったり、やりたくないタイミングで何かやらせようとする、怒ったりぐずったりと抵抗するようになります。高齢で体力がない、フルタイム労働で疲れて気力がない、時間もない母は、TERUがぐずると「TERU見て～これ何かな、すごいよ～♡」と楽しげかつ大げさに声をかけ、指差しなどで興味を他に移したり、道で怒って動かなくなると「うそ～っ!! あれなに～!!」とマンホールや電柱を指して「なんかいつもと違うね。あっちにもある見に行こう!!」と気分をそらせて連れていくという対応をしていました。思いつきぐずらせてあげたいけど、ぐずるのはたいてい切羽詰まった時や放っておけない場所。だけど一度、バスの中でTERUが怒り始めたときは、大げさに驚いたり注意をひくことができず、眼鏡を投げられてバスを途中下車したことも(涙)

体力がなくてやっていたことだけど、ある時病院でお医者様に「TERU 君がぐずったり・駄々をこねて言うことを聞かないときどうしていますか?」という質問をされました。子育てのやり方としてはどうなのか?と不安になりながらも正直に「おおげさに驚いたり、他のものに興味を向けたりして子どもの気をそらしています」と答えたところ、「上手に対応されていますね」と言ってもらいました。きちんと向き合うやり方がいいのだらうなと思っていた私は驚きましたが、TERUのような凸凹タイプの幼児にはよかったのかもしれません。もちろん小学生になるとこのやり方は使えなくなり、別の秘策を編み出したのですが、この話は機会があればまた。

他にやり方はなかったか、性格形成に悪影響はなかったらうかと、今書きながらも少し気にはなりましたが、TERUと母の過ぎ去りし日の思い出です。

TERUの母(文)

※次回は TERU が担当します。